2023年1月25日（水）

「水曜サロン with 赤堀会長」第3期 第13回（通算43回）

ファッションにサイエンス？STEAM教育との接点とは

エマ理永 氏（ファッションデザイナー）

１．内容

・ファッションデザイナーがなぜ研究者とコラボするのか？

・サイエンスはなんてクリエイティブなんだろう！！

・モノ作りの現場から教育の現場へ　二分法から解き放つ

・ずっと悩んでいてたどり着いた　サイエンスとアートの融合→STEAM　　など

２．所感

本日は、ファッションデザイナーのエマ理永さんとの水曜サロン。STEAMのAではありますが、どのような水曜サロンになるのか楽しみと合わせてちょっと不安もありましたが、素晴らしい内容になりました。お話の随所に、作品の写真と動画をお見せいただいたのですが、ここではお見せできないのが残念なのですが、美しいのです。素人の私には、説明ができないのですが、超絶なファッションデザイナーの創るドレスですから、普通じゃないわけです。どちらかと言えば奇抜の象限に入るのかなと。しかしながら、美しいのです。2，3秒、10秒と経つにつれ美しさの象限に移るのです。
「・・・エリの服は、普遍性と個別性の融合が生み出す数理的構造美の創発である。・・・」という称賛の声でお判りいただけますでしょうか？それから、フラクタル（パターン）という表現もされていました。

また、高校の担任の先生の言葉が、エマ理永さんを支えてきているようなエピソードもご紹介いただきました。芸術は感性、考えると計算していると言われていたころ、「君は考える能力を持っている。実は考えることのできる人はすばらしいアートができる人なんだ」と。

最後に、ウエディングドレスのお話をいただきました。設計から寸法合わせ、個人の体にフィットさせた上で、更に美しく見せる工夫を入れ、歩き方を見て更に調整するというオートクチュールで、今は多くの人に提供できるものではなく、今後３Dプリンターを使って、多くの人に提供、体験してもらうことを考えているとのことでした。

質問では、裁縫とプログラミングの組み合わせの話で盛り上がったりと、本日のお話で、STEAM教育のAの重要さを改めて感じ、デジタルは冷たいものではなく、世の中を豊かで美しくするものであると確信した時間となりました。孫娘が、エマ理永さんの３Dプリンターウエディングドレスを着た姿をイメージしました。楽しみです。エマ理永さん、本日はありがとうございました。

以上